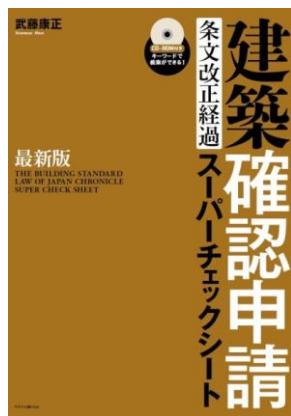
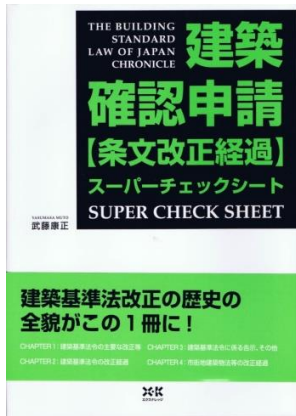


## ① 建築確認申請「条文改正経過」スーパーチェックシート

「建築基準法」は、建築物に関する基本的な法規であって、その前身である「市街地建築物法」の一部の規定を継承しながら、建築確認の制度等を導入した新しい法律として昭和25年に制定されました。

【初版】

【改訂版】

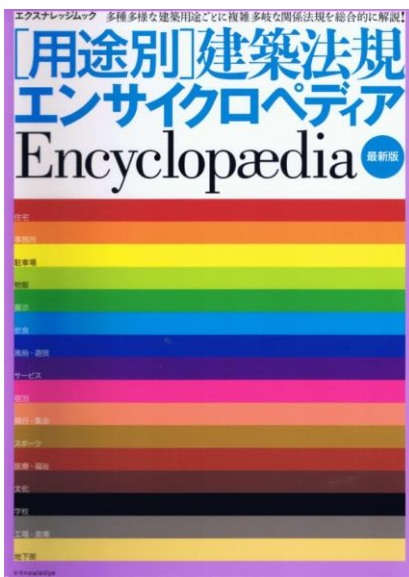


以後、その時々々の社会情勢の変化、都市計画等まちづくりへの誘導又は災害等の教訓その他を踏まえて、規制の強化及び緩和について幾たびか法改正されてきました。

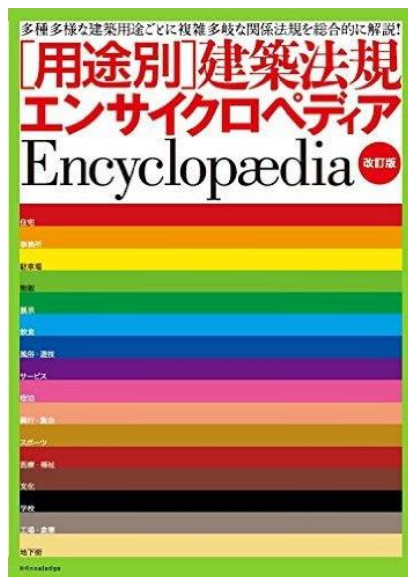
【令和改訂版】



## ② [用途別] 建築法規 エンサイクロペディア



【平成24年版】



【平成28年改訂版】



### ③ [確認申請] を一発で通す方法 (キーワード26)

**建築基準法の骨格**

**【確認申請】キーワード26**

- 1 用光が特種建築物になると規制が異なる
- 2 戸建と共同住宅の区分と注意
- 3 戸建と改築を本宅と見なすか?
- 4 不適の層と既存建物はリベントリー時の必要システム
- 5 主要構造部と構造耐力上主要な部分の区分は目的である
- 6 平均階高と階高は目録制のと異なる
- 7 階層別階高の階高の区分方法は階層である
- 8 階高と階高が異なる場合は階高の区分は階層に注意
- 9 階層別階高の階高の区分方法は階層に注意
- 10 確認申請上階高となる階層は階層である
- 11 構造耐力上主要な部分と主要な部分の区分は階層である
- 12 独立と付属、車庫の階層別区分が異なる
- 13 建築面積と床面積の違いは比較図で一目瞭然
- 14 住宅の容積率はさまざまな規制が適用される
- 15 独立と付属、車庫の階層別区分が異なる
- 16 高さ制限の適用は高さ制限が適用される
- 17 小規模建築物は特定行政庁扱いの建築物が適用
- 18 天窓等は小規模建築物でもOK
- 19 内装材がわかるのは特種建築物火気使用禁止
- 20 耐火建築物の対応は各告示を参照し、準拠が異なる
- 21 耐火建築物が必要な場合は構造耐力上主要な部分の区分は階層である
- 22 5階以上の高層ビルや超高層ビルは階層である
- 23 耐火建築物の区分は階層である
- 24 耐火建築物の区分は階層である

**05**

主要構造部と構造耐力上主要な部分の区分は階層である

**24**

排煙上有効な開口部があっても排煙設備を設けたことにはならない

### ④ 都市計画情報の検索サービス & 告示・通達等索引

**「都市計画情報の検索サービス」**  
のホームページはこちらです。

平成18年 1月 作成  
平成25年 7月 修正  
武藤康正 (名古屋)

このホームページは、インターネットで用途地域等を検索することができる全国の行政庁の「都市計画情報検索サービス」を紹介しています。  
(注) 正確な情報として利用するには、各行政庁での最終確認が必要です。

**「建築基準法の取扱い・運用等」のサイトへ GO**

**著書等のご紹介**

- ① 建築確認申請「条文改正経過」スーパーチェックシート (エクスタレッジ発行)
- ② [用途別] 建築法規エンサイクロペディア (エクスタレッジ発行) [共同監修]
- ③ [確認申請]を一発で通す方法 (建築知識2013年1月号)
- ④ 都市計画情報の検索サービス (インターネット公開) & 告示・通達等索引

<http://www.wa.commufa.jp/ym610/index.htm>

**建築基準法[告示・通達等] キーワード INDEX**

著作: 武藤康正  
平成22年7月 作成  
平成25年6月 修正

以下の項目をクリックして、告示・通達等を検索してください。

**はじめに**

- (1) **キーワード検索**
- (2) **告示年順**
- (3) **通達・例規等年順**

建築知識 2010年7月号

